

授業概要

書・文字の変遷を辿りながら、実技・鑑賞等を通して、美的・規範的とされるいくつかの作品、及びそれに関連する歴史的・文化的事項について理解を深める。さらにそれらを基盤とし、毛筆・硬筆による書写力の向上を図るとともに各自の内的表現に結び付けるものとした。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	硬筆① 書簡
第3回	硬筆② 熨斗袋の表書き
第4回	楷書①
第5回	楷書②
第6回	行書①
第7回	行書②・小テスト（持ち込み不可）
第8回	俳句①
第9回	俳句②
第10回	俳句③
第11回	書体の変遷
第12回	篆書
第13回	隸書
第14回	仮名①
第15回	仮名②
第16回	筆記試験（教科書・参考書等、全て持ち込み可）

到達目標

- ①授業中、取り上げる「規範」的要素について理解を深めるとともに、書写力の向上を図る。
- ②書体の変遷について概要を理解し、毛筆により授業中、取り上げた書体に関する指定の課題を表現し得る。
- ③名筆に対する審美眼を養い、その魅力を感受し、書を通して各自の表現を試みる。

履修上の注意

- ・初回の授業中、ガイダンス（授業の進め方・内容、各自持参すべきもの、成績評価基準の詳細、書道用具・用材の選び方や扱い方等についての説明）を行う。
- ・履修希望者は必ず初回から出席するように。受講者数の上限を30名とする。それを超える場合、初回の出席者の中から抽選（2回目以降の出席者は原則、受講不可）。
- ・書道道具の「全て」を各自用意。それを履修条件とする。

予習・復習

硬筆使用による課題（いわゆる実用書等）。

評価方法

「提出作品」（実技成果）50%
筆記試験 30%
授業内提出物 10%
受講状況（授業への取り組み方）10%

テキスト

- *教科書は使用しない。
- *参考書等については授業中、適宜指示する。